

～省エネ・創エネ設備機器「メーカー・サプライヤー」から、導入を進める「ユーザー」までが幅広く集う～

MOTTO 省エネ・創エネ OSAKA フォーラム キックオフ大会

もっと大阪

2009年7月31日(金) 14:00～18:30

大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

<主催:大阪商工会議所 モノづくり振興委員会>

<参加費無料>

(交流会費は3,000円)

ビル・店舗・工場等に設置されている熱源・熱搬送(ボイラ、冷凍機、ポンプ・ファン、排熱回収等)、空調・給湯(換気設備等を含む)、電気・照明(給水・排水設備、受変電設備等を含む)などの「省エネ設備機器」や、太陽電池、燃料電池、風力発電などの「創エネ設備機器」は、これまで大規模用途を中心に技術開発、実用化が進められてきた結果、わが国の大規模施設では世界トップレベルの機器・システム(部材・要素製品を含む)が導入されています。

中小規模の施設の場合、大規模のものに比較して省エネ・創エネの余地があり、かつエネルギー消費量も大きい(ビルを例にすると、延べ床面積1万㎡未満の中小ビルの総延べ床面積が、国内のビル全体の約70%を占める)ことから、省エネ・創エネによるCO₂削減効果は大きいと見込まれつつも、その効果を最大限に引き出すための機器・システムの開発が十分には進んでいなかったと言えます。

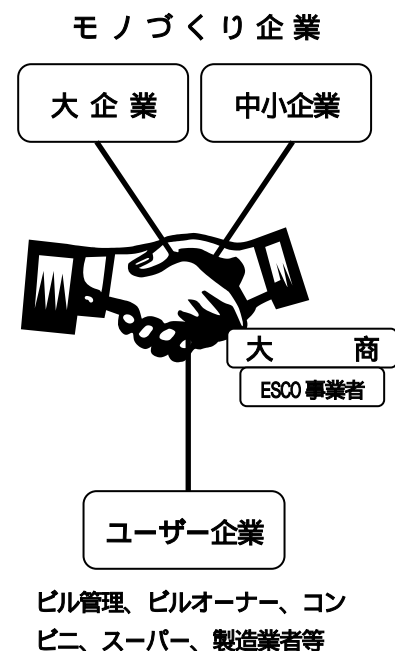
そのような中、本年4月1日に「改正省エネ法」(エネルギーの使用合理化に関する法律)と「改正温対法」(地球温暖化対策の推進に関する法律)が施行され、従来は規制対象外であった中小規模の施設も規制対象となるなど、対象範囲が拡大し早急な対応を迫られることから、中小規模のビルや店舗、工場等にマッチした、安価で、コンパクト、しかもコントロールが容易な新たな「省エネ・創エネ設備機器やシステム」の実用化が今後ますます求められます。

そこで、大阪商工会議所では中小規模のビルや店舗、工場等にマッチした新たな「省エネ・創エネ設備機器やシステム」の実用化や導入を加速させることを目的に、MOTTO 省エネ・創エネ OSAKA(もっと大阪) フォーラムを設置することとなりました。

同フォーラムでは、**■**大手メーカーから最新の機器・システムの解説や導入事例の紹介、**■**そうした機器分野において、優れたモノづくり技術を有する中小メーカーと大手メーカーとの共同開発および部材調達のマッチングを図っていきます。

さらに、**■**ユーザー側として、自社への導入を検討する機器・システムの最新情報や導入に向けたアドバイスなどを受けたい方も参加できます。

つきましては、「省エネ・創エネ設備機器やシステム」の共同開発や、それらの機器の普及事業に関心のある大手・中小の各メーカー、研究機関等に加え、新たな機器の導入を考えるユーザー企業(ビル管理、ビルオーナー、コンビニ、スーパー、製造業の方々)をお招きし、次頁の通り、本フォーラムのキックオフ大会を開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。



【プログラム】

2009年7月31日(金)

於：大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

・ **開会挨拶** (14:00 ~ 14:05)

「大商 MOTT0 省エネ・創エネ OSAKA フォーラム」座長 **名取 隆 氏**
(立命館大学 大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 教授)

・ **概要説明** (14:05 ~ 14:20)

「大商 MOTT0 省エネ・創エネ OSAKA フォーラムについて」
大商 事務局から

・ **基調講演** (14:20 ~ 15:10)

「省エネ化と『省エネ産業』の展開について 中小規模のビル、店舗、工場を中心に」
みずほ総合研究所株式会社 調査本部 政策調査部 主任研究員 **山本美紀子 氏**

・ **講演** (15:10 ~ 15:30)

「改正省エネ法(改正温対法)の概要と対応策について」
財団法人 省エネルギーセンターから

・ **事例研究** (15:40 ~ 16:40)

(1) 開発動向

「省エネ機器の最新開発動向 ニーズが高まる中小規模向け機器も含めて」
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)
省エネルギー技術開発部 主査 **山田宏之 氏**

(2) 導入事例

「中小事業者向けの省エネ対策のあり方 新しい省エネ視点が経営力の差を生む」
株式会社ファーストエスコ 関西事業所 部長代理 **川見俊之 氏**

・ **交流会** (16:50 ~ 18:30) 参加費3,000円/お一人あたり 於;レストランマイドーム

MOTT0 省エネ・創エネ OSAKA フォーラムとは・・・ 座長=立命館大学MOT大学院 名取 隆 教授

「省エネ・創エネ設備機器」の開発・製造に携わっている大手メーカー、中小メーカーに加えて、ビル管理システムのベンダー、ビルオーナー、ESCO事業者、IT関連企業などシステム全般の改善・普及に関心のある企業もメンバー。さらに、自社施設へ省エネ・創エネ機器の導入を検討しているユーザー企業にとっても、省エネ・創エネ関連の情報を効率的に収集できるなどのメリットがある。モノづくりの **Mo**、テクノロジーの **T**、トップランナーの **To** の頭文字を取って、**MOTT0**と名付ける。モノづくり力、技術力を活用し「もっと=今まで以上に。さらに。いっそう」省エネ・創エネを!という決意が込められている。

FAX番号 (06)6944-6249

大阪商工会議所 経済産業部 楠本行き

「もっと大阪フォーラム」キックオフ大会 参加申込書

フリガナ 会社名		大商会員区分 (印)	会員(No. 一般)
所在地	〒		
TEL		FAX	
フリガナ 参加者氏名		所属部署 役職名	
e-mailアドレス			

ご記入いただいた情報は、大阪商工会議所からの連絡・情報提供(Eメールでの事業案内含む)に利用するほか、講師には参加者名簿としてお渡します。